

# 菅田まつりのCMを作ろう

## ◆学年・教科

菅田まつり実行委員会（高学年） 総合的な学習

## ◆総時間数

時間外活動（休み時間、放課後）

## ◆ねらい

- ・菅田まつりを盛り上げるために校内TV放送でCMを流す。
- ・効果的に菅田まつりの宣伝ができるように伝えたい内容を工夫する。
- ・Adobe Premiereを使ったビデオ編集ができるようになる。



## ◆この実践、ここがウリ

菅田まつりを成功させるための現実的な必要性に根ざした活動なので、明確な動機付けがあり、それだけ本気で取り組まざるをえない。そうした環境でこそパソコンを使う意味やメリットが実感できる実践だと考えている。

## ◆活動の流れ

1. 実行委員会の活動内容を話し合うなかで、CM作りの計画を立てる。
2. Adobe Premiereの操作の基本を教える。
3. CMの構想を立て、ビデオ撮りをする。
4. Adobe Premiereを使って編集する。
5. 校内テレビ放送で昼の時間に放送する。

## ◆学習環境（利用する周辺機器類）

- ・デジタルビデオカメラ1台
- ・Adobe Premiereがインストールされたコンピュータ1台

## ◆利用するソフトウェア名とその機能

ソフト：Adobe Premiere

機能：ビデオキャプチャー、トリミング、静止画・サウンド取り込み、タイトル作成、トランジション、など

## ◆実践者のつぶやき

- ・日常的にテレビなどの映像メディアに接している子ども達の映像感覚の鋭さは、日頃から感じているので、編集に慣れてくればかなりおもしろい作品ができてくるのではないかと期待される。
- ・初めは30秒程度のCMにするつもりだったが、全学級の企画を放送して欲しいという要望が強く、いかに短い時間でポイントを押さえたCMにするか、周りの期待に応えようと編集委員はトリミングなどことごとくこだわっていた。
- ・Adobe Premiereは、子どもには難しい多機能なものだが、先ず基本的な3点（ビデオカメラの接続とキャプチャー、トリミング、タイムライン上の並べ方）を理解すれば作業は始められる。そのうちに、「タイトルを付けたい。音楽を入れたい。デジカメの写真を入れたい。」などの要求が出てくる。こうして必要に応じてスキルが高まっていく。初めからいろいろと教える必要はない。

Adobe Premiere、Adobe GoLiveは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

# 緑が丘公園の植物を紹介しよう

## ◆学年・教科

菅田まつり自然グループ（第4学年）

## ◆総時間数

総合的な学習（15時間）

## ◆ねらい

- ・緑が丘公園の植物を調べ、まとめ、菅田まつりで発表する。
- ・活動を通じて身近な自然の植物の生態についてより深く体験的に学ぶ。
- ・Adobe GoLiveを使って植物図鑑を作る。



## ◆この実践、ここがウリ

- ・自然のなかに入り、自然に触れ、自然から学ぶ。その手段としてデジカメやパソコンを活用するという当たり前の学習スタイルを取り戻すことによって、目的と手段の関係を問い直す。
- ・植物の特徴を捉えてデジカメで撮影し、植物図鑑などを使って詳しく調べ、パソコンを使って発表用に整理する活動のなかで、植物についてより深い認識を得る。
- ・Adobe GoLiveのページづくりやリンクという基礎的な機能を使えるようになる。

## ◆活動の流れ

1. 緑が丘公園の植物を調べてまとめ発表するための計画を話し合う。
2. 植物の調査をする。（種類、生育場所、写真）
3. 調査結果をまとめ、展示方法など発表の仕方を決める。
4. Adobe GoLiveを使って植物図鑑を作る。
5. 菅田まつりで発表する。

## ◆学習環境（利用する周辺機器類）

- ・デジタルカメラ3～4台（3名くらいでグループを作り調査時撮影する。）
- ・コンピュータ3～4台（植物図鑑作り）

## ◆利用するソフトウェア名とその機能

ソフト：ホームページ作成ソフト「Adobe GoLive」  
機能：ページ作成（テキスト、写真、表）、リンク

## ◆実践者のつぶやき

- ・Adobe GoLiveは、大人にとっても理解が難しい面があるので子どもにとってはなおさらである。しかし、一気にホームページを作るのではなくページとリンク機能だけでも結構おもしろい活用ができる。4年生でも機能を限定すれば理解して使うことができた。
- ・今の子ども達は、人工的な環境の中に置かれることが多く直接的な体験が少ない。そのことから、パソコンを与えることに対する批判的な意見もある。そこで、もう一度パソコンの位置付けを問い直してみるような実践も必要だと感じた。今回、自然の中に直接は入っていくなかでそれを再確認できた。

## センダングサ

センダングサは、洋服などに、くっきます。これを乾燥させると色が黒くなり、ボンバーになります。

